



## School Fete 緑舎祭



【校長開会のあいさつ】



【校内装飾（資源再利用）】



【国語：SDGs 未来を変える  
アクションプラン紹介】

今年の緑舎祭は例年と違い、保護者の方のみ入場できる校内祭の形で行いました。今年は新型コロナウイルスによる規制で直前まで開催自体が危ぶまれましたが、2学期に入り開催決定となりました。例年であれば1学期から計画を始めるのですが、準備期間が非常に短くなりました。しかし、生徒、職員が一丸となって、限られた時間の中で一生懸命準備をしました。

当日はあいにくの雨模様で、ゲームの企画がうまくいかなかったり、後夜祭が計画通り進まなかったりしましたが、無事一日を終えることができました。保護者の皆様には、お忙しい中ご来校くださり、本当にありがとうございました。

（緑舎祭担当 久保）



【水曜コース：トラッシュン】



【家庭科：草木染】

## 国際文化交流員委員長のことば

今年の緑舎祭テーマは「環境 ～私たちに今できること～」です。今回のテーマはSDGsの12番にあたる「作る責任使う責任」という項目に基づいています。今世界が取り組んでいるSDGsを授業でも扱い、リサイクルやリユーズのことからゴミとなるものを捨てずに学園に掲示しました。また、学年それぞれの屋台でも、ゴミを減らす心がけを持った工夫がされています。この文化祭を通して環境への意識を高め、これからの未来に役立てていこうと思います。

緑舎祭を開催するにあたり、協力くださった先生方、生徒の皆さん、素敵な文化祭を作り上げてくださりありがとうございました。1、2年生は今回が初めての緑舎祭でしたが、取り組みに励んできたこの緑舎祭は皆さんのおかげで、最後の緑舎祭であった3年生にとっても素晴らしい思い出になったと思います。お疲れさまでした。

# K01



1年生はSDGsに関するスタンプラリーとフルーツサンド・ハニートーストの販売を行いました。前日にフルーツサンドを作っている段階では、本当に全部売り切ることができるのか心配になる生徒もいましたが、当日ふたを開けてみるとしっかりと売れてくれて、担任としても一安心といったところでした。また、1日を通して模擬店をオープンさせておくことができたのは、生徒たちのホスピタリティの一つの表れだったと思っています。食事の準備は主に女子が、看板やポスターの作成は主に男子が行いました。生徒たちが今回実施した全ての企画を「自分ごと」にできていたのは、非常に嬉しいことでした。

今回生徒たちは、企画を実現させたり先輩たちの背中を見たりする中で、自分たちの更なる伸びしろを見つけることができたと思います。ただ楽しかった！だけで終わらせてはもったいないと思いますので、どのように話し合い、何を決め、計画をすればいいのか、ものを売るとはどういうことか、集団での動きで個人が意識すべきことが何か等たくさんあった気付きのポイントを、自分たちの中でよく咀嚼し、成長のための糧としてほしいと思います。(1年担任 山下)



# K02



2年生の学年企画では、展示企画としてボールスナイパーを、模擬店として豚汁販売を行いました。前者は、天候の影響が少ないような制度設計にし、当日までに修正を加えながら準備し、当日を迎えました。後者は、仕入れ量を事前に十分検討し、前日の試作調理をふまえ、当日に臨みました。

悪天候も幸いし、午後の早い段階で売り切ることができました。学年として取り組んだ学園行事としては、おそらく入学以来初でしたので、これまでには経験できなかったことであったと同時に、ふだんの教室では目にすることができない他生徒の一面にも触れることができたことと思います。



最後に、企画に参加して楽しんでくださった方々と模擬店に足を運び、美味しいとフィードバックをくださった方々に感謝を申し上げます。

(2年担任 初田)



# K03



3年生はKAWSのアートを模したゴミアートと餃子・唐揚げの販売を行いました。アートは地道に製作を進め、フードは前日に念入りな準備を行いました。人数が少ない中での準備でしたが、それぞれがきちんと役割を果たして準備に参加しました。当日、餃子も唐揚げも人気で、想像以上に売れ行きがよく、片付けも含めて気持ち良く終わることができました。

事前事後の準備片付けや当日の立ち回りにもっと苦労するのではないかと危惧していましたが、さすが最高学年、少ない人数でも効率よく動き、クラス外の仕事を抱えながらもそれぞれが楽しむことができていたように思いました。昨年度の方も楽しめた緑舎祭だったと思います。

(3年担任 宇佐美)



## 生徒会 ～後夜祭～



生徒会主催の餅つきが、緑舎祭で実施されました。コロナ禍ということでタイ米のもち米しか入手出来ず、味はどうかと不安でしたが、生徒や家族の皆様、教員のみんなでついたお餅は、美味しいと大好評でした。みんなで餅をつくという過程があったからこそですね。

後夜祭は最後に打ち上げ花火がありました。ほぼ真下から見る花火は、横から見る花火と変わらず綺麗でした。打ち上がった花火に私も生徒同様に魅了されました。餅つき、後夜祭と生徒会の皆さんありがとうございました。また参加して下さった保護者の皆様に、感謝申し上げます。(生徒会担当 乳井)

## Macmillan Coffee Morning in TEIKYO

緑舎祭に合わせ、1・2年生が、チャリティー活動を行いました。今年は、事前にMacmillanの相談センターよりスタッフが来校してレクチャーを行ってくださったり、生徒のリーダーたちが中心となって企画を進めたりするなど、新たなスタイルを取り入れました。オリジナルのポスター作りからメニュー決め、ケーキやクッキーの製造と販売など、皆が何らかの役を担いながらこのイベントに参加しました。



寄付金は最終的に¥204.24となり、リーダーたちがMacmillanセンターに届けて、今年の取り組みが終わりました。短い期間での取り組みでしたが、「自分のした何かが、誰かのためになるのかなと思うと嬉しかった」という生徒たちの声を、また来年につなげていきたいと思えます。(保健室 栗木)

## Wednesday Course

Students are learning about single use plastics and how to reduce waste in their Wednesday afternoon class. To find out what kind of litter people throw away we did a litter pick near the school. We walked for about 500 metres and found an amazing 11kg of rubbish which included 38 cans, 23 glass bottles and 21 plastic bottles. Everything could have been recycled if thrown away properly.

Next, we looked at how we can reduce the amount of waste we produce. Students first arranged litter into a timeline from longest to shortest decomposing times. They found out that paper can take about 6 weeks to break down, plastic can take around 400 years and glass bottles can take around 1 million years (but no one really knows).

To share their knowledge with other students and raise awareness of waste, they created a poster quiz using real rubbish. To check the information is actually correct, they buried different types of rubbish in the school garden. There is a mix of plastic waste and more sustainable substitutes. We will dig up the rubbish in about 6 weeks to see if there is any change.

In the final lesson on waste, students visited Seed 1, a zero-waste shop in Marlow. The shop aims to cut the amount of packaging by asking customers to bring their reusable containers/bags when

they do their shopping. They also specialise in selling reusable alternatives to items usually made using plastic (e.g. straws, cups). The students enjoyed listening to the manager explain about the concept and history of the shop. Of course, they also enjoyed doing a bit of shopping as well!

(水曜コース担当 Richard)

